

鉄筋ジャバラユニット工法 施工要領書

平成 年 月 日

元請会社 _____

現場名 _____

施工会社 _____

作 成	承 認

目 次

1. 目的	3
2. 適用範囲	3
3. 製品規格	3
4. 品質管理基準	4
5. 品質管理 工程	5
6. 作業手順	6
6-1. 作業手順 柱	7
6-2. 作業手順 梁	8
6-3. 作業手順 壁・スラブ	9

1. 目的

鉄筋工事における各部位(柱、梁、壁、スラブ等)を「特殊ゴム付結束線」にて先組み、「ジャバラユニット化」することにより、施工現場において工期の短縮、品質の向上、仮設設備の削減、安全作業の確立を目的とする。

2. 適用範囲

この資料は_____が作成する鉄筋ジャバラユニットについて規定する。

なお鉄筋の継手位置を変更する場合には事前に、施主、設計事務所、元請担当者等と協議の上事前に承諾を受けます。

3. 製品規格

(1) 材料 JIS G 3112 鉄筋コンクリート用鋼棒

(2) 鉄筋の種類及び径

(2)－1 種類 SD295A SD345 SD390

(2)－2 径 D10、D13、D16、D19、D22、D25、D29、D32
D35、D38、D41

(3) 結束線 使用する結束線は「特殊ゴム付結束線」とします。

特許出願中 出願日 平成10年 6月25日

出願番号 特願平10-178871

(4) 継手位置 柱及び梁主筋の継手は全数同一箇所継手とする。

(参照) 建築工事標準仕様書・同解説 JASS(2004版)
付42 特殊な鉄筋継手の取り扱いについて

(5) 継手方法 鉄筋溶接継手(ニューNT工法)

(財)日本建築センター A級評定取得

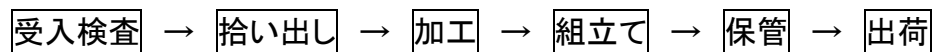
BCJ評定—RC0011—01

特許 第3098169号

商標登録 第4235603号

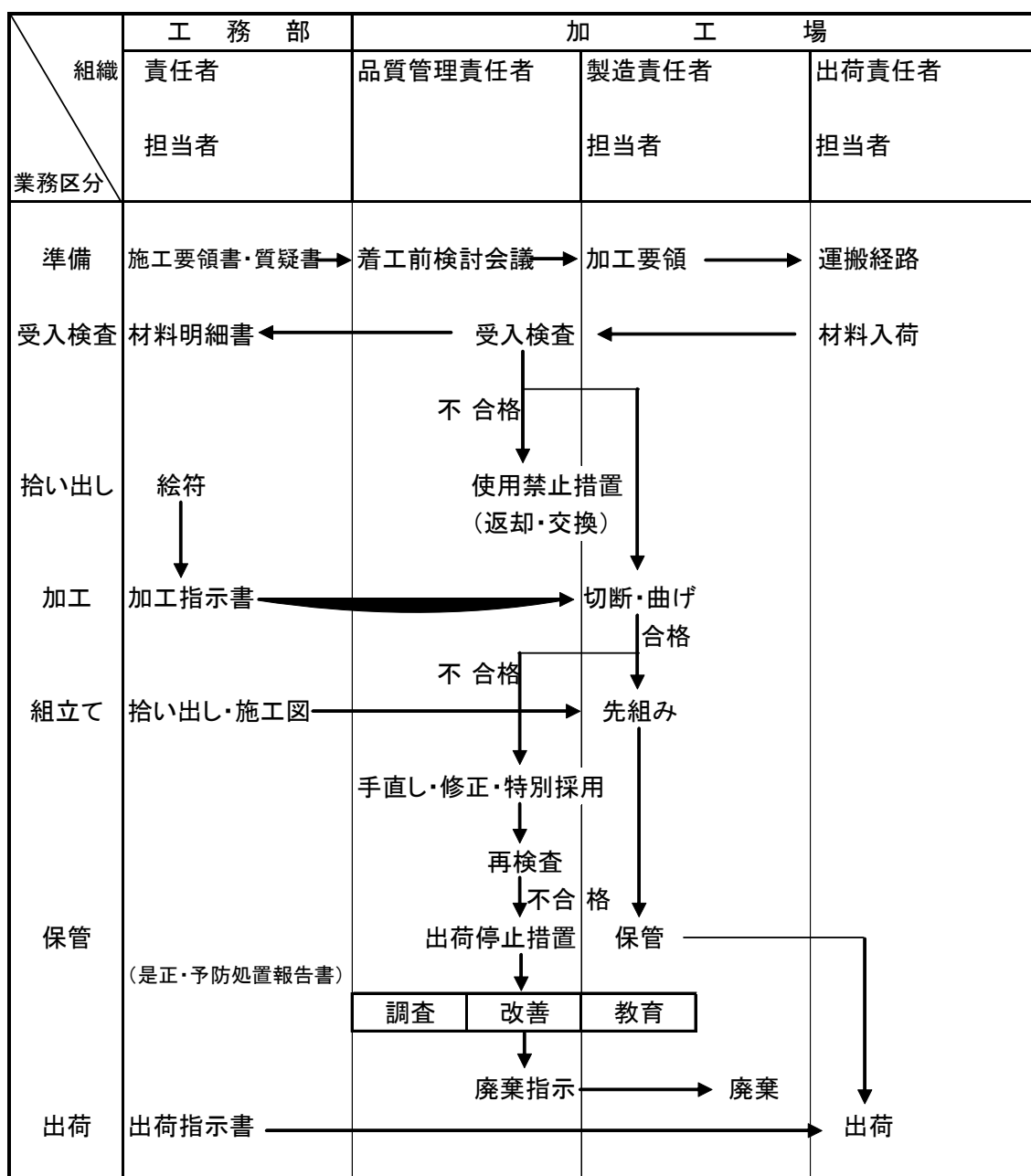
4. 品質管理基準

(1) 製造工程



(2) 品質管理体制

品質管理体制



5. 品質管理 工程

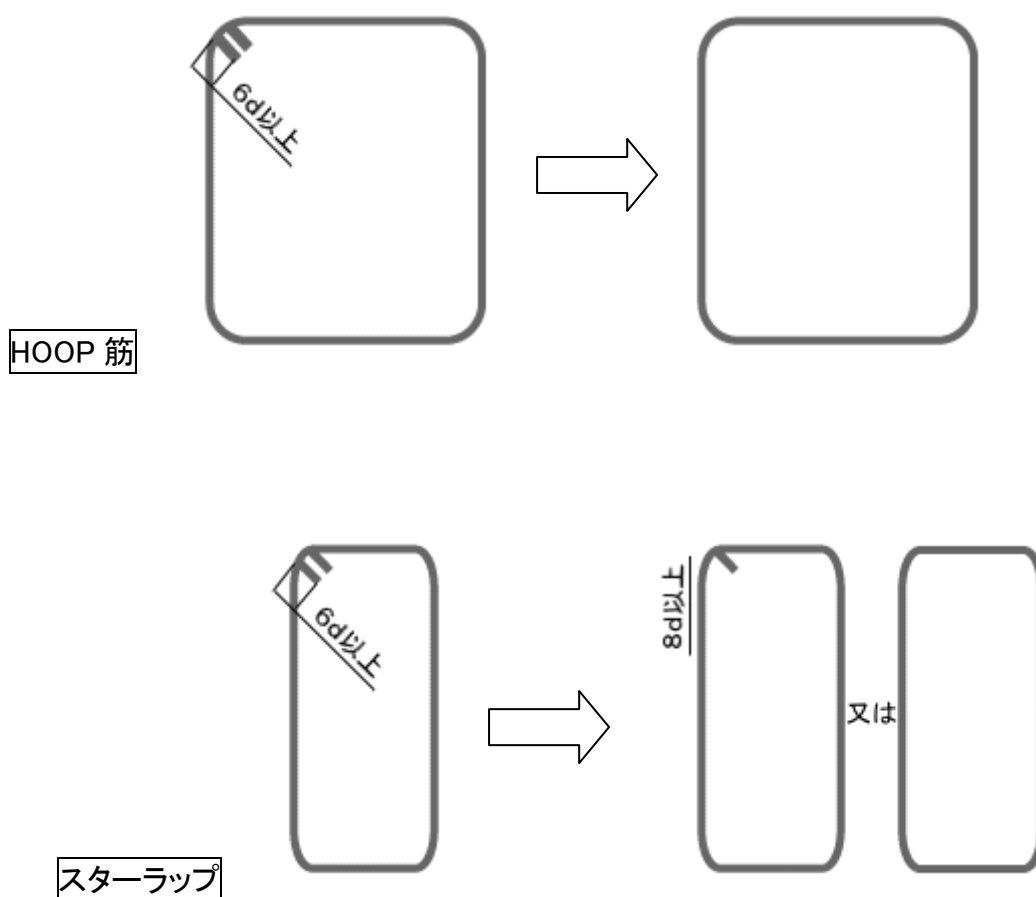
工程	管理項目	管 理 基 準	管 理 方 法				異常時の処置	備考
			頻度	抜取り	方法	記録		
1. 材料 受入検査	照合	送状とメタルタグの照合	入荷 の都度	全数	目視	送状に押印 ↓ 材料検査記録	返却	メーカー に通知
	外観	有害な疵・錆等不可						
2. 拾い出し	径	構造図どおり	受付番号 毎	全数	目視	—	手直し	
	寸法	〃						
	本数	〃						
	形状	〃						
3. 加工検査 (切断・曲げ)	寸法	±3mm	加工ロット 初回・最終 計2回	1本/回	実測 目視	鉄筋加工チェックリスト	手直し 修正 特別採用 廃棄	
	曲がり	±3mm						
	平坦度	≤1d	加工の都度	全数				
	外観	有害な油付着・錆等不可						
4. 組立て	径	構造図どおり	ユニット 毎	全数	実測 目視	鉄筋工事チェックリスト	〃	
	寸法							
	本数							
	形状							
5. 保管	外観	荷崩れ・錆・油付着等不可	都度	全数	目視		手直し	
6. 出荷	表示	出荷指示書と絵符の照合	積み込み時	全数	目視	出荷指示書	手直し	
	数量							

※ 施工現場における鉄筋ジャバラユニット工法の継手要領及び検査方法については、ニューNT工法標準仕様書に準ずる。

6. 作業手順

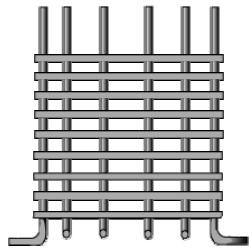
共通事項(拾い出し、加工)

在来工法で用いられる HOOP 筋及びスターラップは135° ツメ付加工であるが、鉄筋ジャバラユニット工法では、下側のツメが主筋と干渉し折畳みができないため、下記の要領で90° に曲げておいて取付後135° に曲げてなおすか、もしくは溶接閉鎖型を用いるか、または片ツメを90° の曲げとし、重ねしろを8d以上となるように変更する。

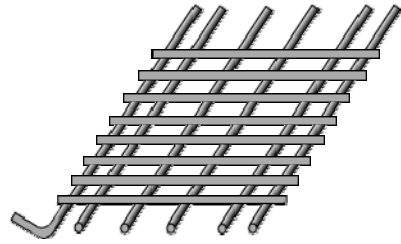
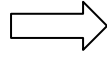


各部位のユニットは、施工現場において所定の場所にセットした後、柱・梁は ニューNT工法にて溶接継手を施し、壁・スラブはジョイント筋で継ぎ、ダメ仕舞いをした後完了となる。

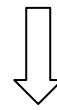
6-1. 作業手順 柱



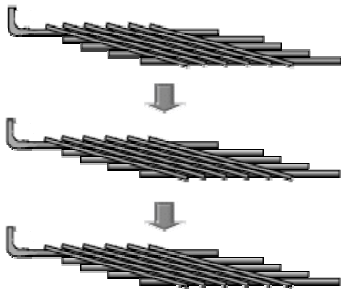
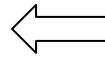
① 特殊ゴム付結束線で先組み



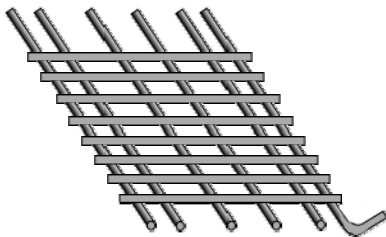
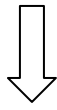
② 折畳む



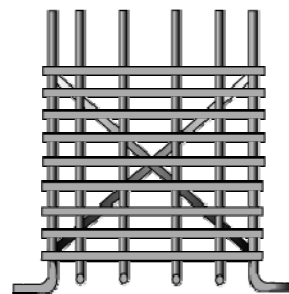
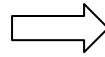
③ 折畳んで集積



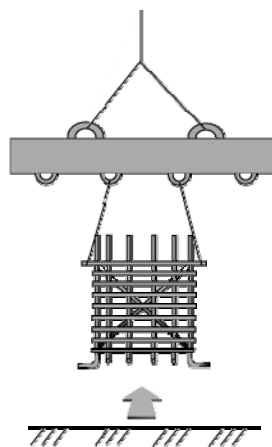
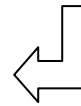
④ 積重ねて出荷・現場搬入



⑤ 起こしてセット準備

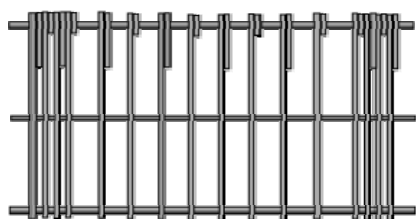


⑥ 転倒防止筋を結束

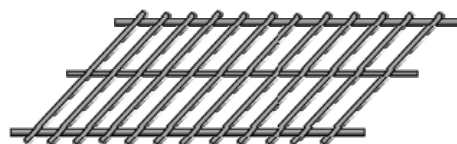
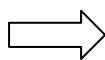


⑦ 所定の場所へ吊り込む

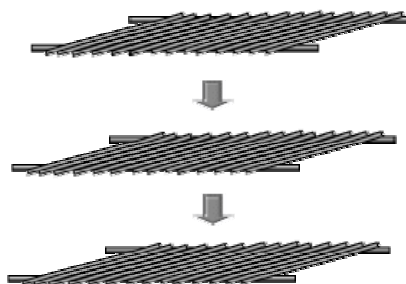
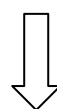
6-2. 作業手順 梁



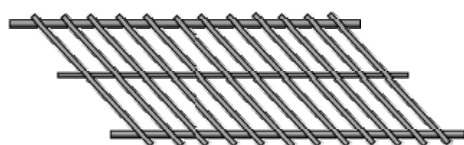
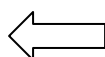
① 特殊ゴム付結束線で先組み



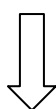
② 折畳む



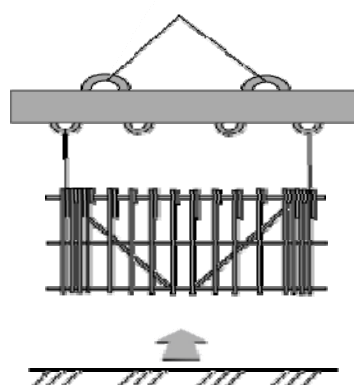
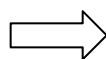
③ 積重ねて出荷・現場搬入



④ 起こしてセット準備

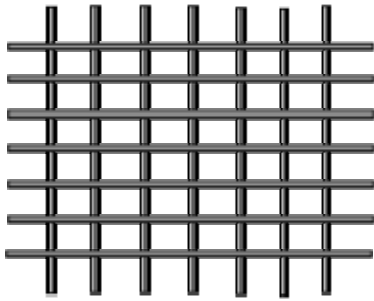


⑤ 転倒防止筋を結束

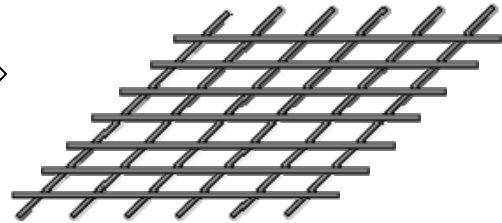
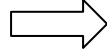


⑥ 所定の場所へ吊り込み

6-3 作業手順 壁・スラブ



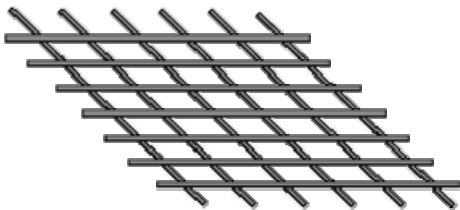
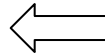
① 特殊ゴム付結束線で先組み



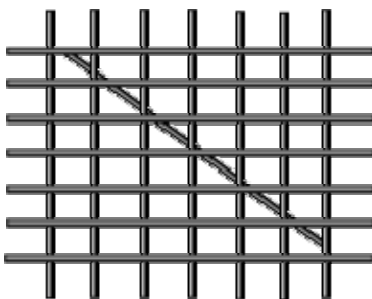
② 折畳む



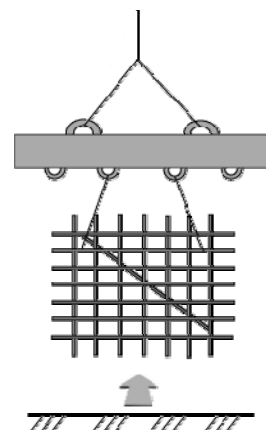
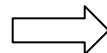
③ 積重ねて出荷・現場搬入



④ 起こしてセット準備



⑤ 転倒防止筋を結束



⑥ 所定の場所へ吊り込む